

## 令和7年度第2回 北九州市子ども・子育て会議【会議要旨】

### 1 開催日時

令和8年2月16日(月) 17:30~18:00

### 2 開催場所

北九州市役所11階 112会議室 及び オンラインによる出席（ハイブリッド形式）

### 3 出席者委員数 ※委員数14名

12名(平山博久委員、山下博徳委員欠席)

### 4 会議次第

#### (1)開会

①局長挨拶

②北九州市子ども・子育て会議について

#### (2)委員及び事務局の紹介

#### (3)議題

①会長及び副会長の選出

②認定こども園・確認部会委員の選出

#### (4)閉会

### 5 会議経過

#### (1)開会

##### ①局長挨拶

この度、委員の任期満了に伴いまして、2月1日付で改選を行わせていただいた。前期から再任をいただいた方が7名、そして、新たにご就任いただいた方が7名の計14名である。委員の皆様におかれましては大変お忙しい中、お引き受けいただき改めて感謝を申し上げる。

さて、現在の少子化の現状であるが、令和6年の北九州市の出生数は5,267人で依然として減少傾向が続いている。全国の状況と比較すると、人口1,000人あたりの出生数である出生率は、令和6年の全国値5.7に対しまして北九州市5.8とほぼ同程度であるが、1人当たりの女性の方が生むことが見込まれるこどもの数、いわゆる合計特殊出生率については、全国1.15、東京都0.96に対して、北九州市は1.37と、割合高い値となっている状況である。比較的子育てしやすいまちと受けとめていただけるものと思う。

そのような中で、昨年3月には、今後5年間の子ども・子育て支援の取組を進める上での基本方針・基本理念を定めた北九州市子どもプランを定め、そちらについて、子ども・子育て会議の委員の皆様にご意見をいただき、策定をしたところである。こちら「こどもまんなか city」の実現ということを基本理念にして、こどもを社会のまんなかに、子育てがもっと楽しく感じられ、どんなときもこどもの歩みに寄り添い、こども・若者・子育て世代をしっかりと応援していくと、そのようなまちを目指して様々な施策を進めてまいる所存である。

委員の皆様におかれましては、年1回程度の開催にはなるが、子ども・子育て会議を開催するので、こどもプランの取組や指標の進捗評価にあたり、それぞれのご知見を交えたご意見

をいただければ、大変ありがたく思う。

それでは、北九州市のこども・子育て施策の推進に向けた今後のご支援をお願いし、私からの挨拶とさせていただきます。

## ②北九州市子ども・子育て会議について

資料1に沿って事務局から説明

### (2)委員及び事務局の紹介

資料2及び資料3に沿って、出席委員及び事務局(子ども家庭局幹部職員)から自己紹介

### (3)議題

#### ①会長及び副会長の選出

(事務局)

北九州市子ども・子育て会議条例第5条では、「会議に会長及び副会長を1人置き、委員の互選によってこれを定める」と規定されている。事務局としては、友納委員に会長、また阿南委員を副会長候補に推薦したい。

まず、友納委員については、経歴として、外資系企業や、日本興業銀行での勤務を経たのち、大学で心理学を学ばれ、スクールカウンセラーや教育コンサルティングを経験された後、現在、大学教授として、九州女子大学大学院人間科学研究科長を務められている。専門分野だけではなく、幅広い経験と知識をお持ちであることから、会長候補に適任と判断をしている。

また、阿南委員については、西南女学院大学短期大学部の保育科教授として、長年、幼稚園教諭や保育士等の養成に取り組まれている他、北九州市や関係団体の会議の委員や講師を務められており、副会長候補として適任と判断し、このたびお二人を会長・副会長候補として事務局より提案をしたいと思う。委員の皆様、ご意見等ありましたらお願いしたい。

(委員)

意見なし

(事務局)

異議なしということで、よろしいか。それでは友納委員を会長に、阿南委員を副会長にお願いしたいと思う。このたび新たに会長をお願いする友納委員、そして副会長をお願いします阿南委員に一言ずつお言葉を頂戴したい。

(友納会長)

ただいまご紹介賜りました友納です。この度、会長としてご推薦、ご承認いただき、大変身の引き締まる思いである。まずは、これまで本会議で力強く牽引してこられた事務局の皆様、前会長はじめ、委員の皆様のご尽力に深く敬意を表す。これまでの積み重ねてこられた議論と取組がしっかりと基盤になっているかというふうに存じている。本当にすばらしいこどもプランが仕上がっており、拝見した。その歩みをしっかりと受け継ぎ、本会議の役割となる北九州市こどもプランの計画で定めている指標と施策の進捗管理を行うにあたり、委員の皆様の知見、意見等を頂戴しながら、「こどもまんなかcity北九州」の実現に向けて、確かな前進につなげていければと存じている。正直なところ、今ちょっと普段より背筋が数センチピンと伸びているというふうに感じている。短い2年間であるが、どうぞよろしくお願いしたい。

(阿南副会長)

改めまして、西南女学院の阿南です。この度はご承認いただきありがたく思う。事前にいた

だいたこの資料やホームページに記載されている議事録等をちょっと拝見していく中で、やはり北九州市の保育に関して、こどもに関して、全国的にも評価されているということ、私もそこに関わる一員としながら、すごくうれしく思っている。それも、このように、これまで色々な分野の方々、私はいつもずっと保育であるが、色々な分野の方々の色々な意見を聞くからこそ、でき上がっていく作り上げられていくものと感じた。これから北九州で育っていくこどもたちがより良く、そして、そのこどもたちに関わる周りの保護者や地域の方々が、北九州の「こどもまんなかcity」が本当に素晴らしいということが、少しでも伝わっていけるように、私もつたない力かもしれないが、関わらせていただければというふうに思っている。よろしくお願ひしたい。

## ②認定こども園・確認部会委員の選出

資料4に沿って事務局から説明

(友納会長)

ただいまの説明に関して、何かご意見、ご質問等はないか。

(委員)

意見なし

(友納会長)

皆様、認定こども園確認部会委員について、ご了承いただけるか。それでは本件について、皆様にご了承いただいたため、本日の議案は以上とする。

## (4)閉会

(事務局)

次回の会議は、令和8年10月ごろを開催予定とする。